

臼田地区新小学校配置平面計画（案）に関する

パブリックコメント（意見募集）の実施結果

1 意見募集の概要

（１）意見募集期間

平成30年12月3日（月）から平成30年12月28日（金）

（２）計画案の公表方法

ア 佐久市ホームページへの掲載

イ 佐久市役所市民ホール、教育委員会学校教育課窓口、各支所総務税務係窓口に閲覧用として設置

（３）意見の募集方法

ア 郵送

イ Eメール

ウ FAX

エ 直接持参（教育委員会学校教育課）

2 意見募集の結果

（１）提出された意見 8名 22件

（２）提出された意見の概要とそれに対する市および市教育委員会の考え方別紙のとおり

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
校舎		
1	女子トイレの便器の数が、男子の数に比べ少ないが十分なのか。児童がたくさん集まるところは一つでも増やせないか。	ご意見をふまえ、実施設計で検討していきたいと考えています。
2	特別支援教室が、中庭と西側の庭に面していることを評価しているようだが、果たしてそうだろうか。他市の例では、教育的な意味で必ず交流できる場所に設定されていたりする。どうしても、奥に「隔離」されている印象が否めない。自然な交流ができることを考慮してほしい。	特別支援学級に通う児童の中には、周囲の視線が気になり集中できない児童もいれば、他の児童と一緒に遊びたい児童もいます。特別支援学級教室は、特別支援学級の児童だけの遊び場としての西側の庭、特別支援学級以外の児童との交流の場としての中庭、どちらも使えるように配置し、児童の個性に応じた学習と交流ができるように計画します。
3	どうみても校舎間が狭いように感じるため、南東の土地や西側の住宅等、敷地の新たな確保に努力してほしい。	市教育委員会では基本設計に着手する前に、仮のレイアウトを作成し、この敷地が学校用地として十分な広さを有していると判断していますので、更に敷地を広げることは考えていません。(佐久市型論点整理手法 No.117 のとおりです。)
4	教室は開放型にするという教委の英断が必要と思われる。密室化、密閉化は、新しい教育の流れ(開かれた学校)に逆行している。	オープンスペース型は、グループ学習や作業活動などの多様な学習形態をとれる点や、学年単位での行動がしやすい点がある一方、児童によっては他からの音等が刺激となり、集中力を欠いてしまう点があることに加え、建設地域協議会や学校の先生方から、1クラスごとに区切られた教室を望む声が挙がっています。また、多様な学習形態等については、多目的室やワークスペースが寄与するものと考えています。

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
5	校長室、事務室は職員室に隣接していた方が良い。	ご意見をふまえ、実施設計で検討していきたいと考えています。
6	保健室は、低学年教室、特別支援学級教室、プールに近い方が良い。	保健室は、救急車が横付けできる位置で、運動時などの児童のけがなどに速やかに対応できるよう、グラウンドに近く、かつ、職員室と連携がとれるように、この配置のとおりとしたいと考えています。
7	太陽熱温水器、太陽光の活用を思い切って導入してほしい。太陽熱温水器でシャワーの設置（給食センターの給湯、給食センター、保健室、職員用のシャワー室、プールのシャワー等）。エアコンの導入を検討される時代、全国トップクラスにある日照時間を活用したい。光熱費の大幅削減。	学校の屋根には、50kwの太陽光発電設備を設置する予定です。なお、その他の活用については、現場の意見をふまえ、費用対効果を考慮しながら実施設計で検討します。
8	多目的ホールを広くとってほしい。放課後の子どもたちの居場所として活用してもらいたい。	<p>多目的ホールは、体育館以外の室内運動スペースとして、また、学年集会や行事等、様々な学習の場として使うことを想定しており、適切な広さを確保できていると考えています。</p> <p>新小学校建設に伴う新たな児童館整備につきましては、現在のところ予定していませんが、臼田地区においては、既存5児童館（臼田、青沼、田口、下越、切原）を存続し現在と同様の運営をしていきます。徒歩通学の児童のうち、新小学校近隣の児童が放課後過ごす場所につきましては、多目的ホールの活用も含めて、児童館所管課とともに、総合的に検討します。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
グラウンド		
9	<p>グラウンドを参観日に駐車場としても使えるようにクレイ舗装にするとしているが、極寒地で凍み上がりのある佐久の地にふさわしいのか、素人目から見て不安である。もともと水田地帯で、南に向かってのぼりの斜面になっていると思われる。雨が続くと当然地下水位が上がり、グラウンドなどは水が染み出てくるのではないかと心配される。クレイ舗装とすれば、凍み上がりの防止や地下水の排水のためにはグラウンドを掘り下げて相当の量のバラスなどで対策をしないといけないのではないかと心配される。普通のグラウンドにして、駐車場として使えるときは使って、使えないときは別に考えたほうが数年先の心配がないのでは。</p>	<p>クレイ舗装は、排水性をよくするために、有孔管と碎石を敷設し、その上に、砂と土を混ぜ、塩化カルシウム等で表面処理した表層を設ける舗装です。表面はある程度の固さで運動がしやすく、かつ排水性が良いため、雨が降っても早く使えるグラウンドです。近年クレイ舗装で整備した学校の実績でも、水はけの良さを確認しており、佐久の気候にも適応した舗装となっています。また、敷地造成では、水田の地下水等を考慮した暗渠排水管を布設したり、切土を少なくする計画とします。</p>
10	<p>グラウンドが何故か真四角でない。南側の敷地を僅か広げるだけで良い形になるのに、なぜそうしないのか教えてほしい。南側に土地があるように見えるが、検討したのか。佐久平浅間小学校より広い敷地は必要ないと考えているようだが、本当か。</p>	<p>市教育委員会では基本設計に着手する前に、仮のレイアウトを作成し、この敷地がグラウンドを含め、学校用地として十分な広さを有していると判断していますので、更に敷地を広げることは考えていません。(佐久市型論点整理手法 No. 117 のとおりです。)</p>
駐車場		
11	<p>バス等の駐車スペースの中心に植栽が予定されているが、駐車スペースにして一台でも増やすべきではないか。広い場所が確保されるといううたい文句でここが決まったが、駐車スペースが少なすぎる。校舎の南側の場所も確保し保護者の送迎ができるようにしたらどうか。</p>	<p>駐車スペースのレイアウトについては、通学方法の決定に合わせ、実施設計で検討します。なお、緑地については、開発行為の基準の中にも定められており、ある程度必要であると考えています。また、児童のけがなどの理由による保護者の送迎用に必要な駐車台数は確保できていると考えています。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
12	<p>徒歩で通学する児童が敷地周辺を安心して通学できるように万全の対策をお願いしたい。職員用駐車場が校舎の横に配置してあるが大丈夫か。</p>	<p>徒歩で通学する児童、スクールバス、車両の動線の交差が最小限となるよう計画しています。子どもたちが正門から昇降口に行くまでの道については、原則として、車は入らないように分離しています。開校後は安全な学校生活を送れるよう、運営方法で配慮します。</p>
給食センター		
13	<p>給食センターの職員駐車場がないように見受けられるが、車社会で作業する人は事実上車でしか来られないので、建設時点で必要面積は確保すべきではないか。現在の給食センターの駐車台数に加え、余裕を持った台数の確保をすべきではないか。南側の住宅の前に農地があるし道路の反対側にもあるので、遠く離れた場所ではなく今の時期ならば隣接に確保できるのではないか。給食センター用地は農地転用の許可がいらぬので、2期工事などとして全体計画とは別に実施できるのではないか。</p>	<p>駐車場につきましては、早出の職員や来客用等として駐車スペースを確保していますが、他のセンターの例のように工夫をしながら駐車することで一定程度の確保はできるものと考えています。また、不足する場合は、周辺の市有地を活用することで対応していく予定です。</p>
14	<p>給食センターを敷地内に建設することは、食育の点でもとても良いと思う。しかし給食職員は、学校とは別の仕事。独立した駐車場は必須だと思う。敷地の形からみても、南側に駐車場を確保すべきではないか。学校なので、今後の長い先を見越して今対応すべき。</p>	<p>市および市教育委員会の考え方 No. 13 のとおりです。</p>
15	<p>給食センターの駐車場がないというのは、毎日の給食を作っていただく職員の皆さんがかわいそう。他のセンターと比べて環境を差別するのはおかしいと思う。</p>	<p>市および市教育委員会の考え方 No. 13 のとおりです。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
16	<p>校舎との接続で、給食センターに行く通路が他より狭いが十分なのか。</p>	<p>校舎と給食センターを結ぶ通路につきましては、児童の動線を考慮し、必要な通路幅を設けていきたいと考えています。</p>
17	<p>この配置だと給食センターの位置が決まってしまう。給食センターは意見募集の対象外といっても、新小学校の配置が決まってしまうと、給食センターの配置も決まってしまうため、この配置はやめていただきたい。</p> <p>理由として、給食センター前の県道は道幅が狭く見通しが悪いので、車の出入りにも非常に怖い思いをしている。納入業者の車が来るので危ないままになる。歩き通学の児童も自転車通学の生徒も危ない。また、冬は家の日影で道路は凍結し、なかなか解けないので危ない。</p> <p>今の小学校の配置図だと県道沿いに給食センターができるので危ないまま。給食センターが県道沿いになるような今の新小学校の配置はやめて欲しい。</p>	<p>給食センターが建設されることにより、これまでの環境に変化が生じますが、納入業者の搬入車両は1日10台ほどであり、車両が頻繁に出入りすることは少なく、交通への影響は小さいものと考えています。また、日影を抑えるよう屋根の形状に配慮していきます。</p> <p>給食センターの配置につきましては、搬入車両の経路、児童やスクールバスの動線等を考慮し、学校全体の施設利用も含め検討した上で、この場所が最適であると考えています。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
18	<p>今回給食センターの高さと場所と駐車場と車の出入り口について危惧を抱いている。また、この給食センターについては、今回はパブリックコメントを受け付けないようだが、それもなぜなのか。小学校の配置が決定する前から、給食センターはすでに配置が決まっていて、動かさないものという考え方なのか。だから、意見を募集しないのか。秋にそちらにコメントを残したはずだが、回答はいただけていない。</p> <p>給食センターの出入り口あたりは寒く、冬は凍結して危ない。以前、そこで滑って亡くなった方がおられて心配である。これから下小田切は高齢化が進むので、お年寄りばかりが歩くようになるだろう。</p> <p>給食センターの11メートルの日陰になり犠牲になるお宅もいくつかあるが、その影響がなるべくないようにしてもらえないだろうか。</p> <p>プールの配置を給食センターの方へ一部動かさないだろうか。プールならそこまで高くないので、日陰に不満を抱かずに、地域にできる新しい学校と共存できる。</p> <p>プールの配置と給食センターの配置を考慮してほしい。今の設計図の配置はやめてほしい。車の出入りも、新しい道のほうへ誘導できるはず。</p>	<p>市および市教育委員会の考え方 No. 17 のとおりです。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
19	<p>今回、給食センターの配置が公表されたが、明らかに狭い敷地に無理やり押し込んだように見受けられる。駐車場がとれないなんてひどい話である。そのため、鳥瞰図を見ても校舎の周辺の敷地に全く余裕がなく、4つの小学校が合併して狭い1つの校舎に押し込められるイメージが強い。どうして周辺の田を取得できないのか知りたい。</p>	<p>市教育委員会では基本設計に着手する前に、仮のレイアウトを作成し、この敷地が学校用地として十分な広さを有していると判断していますので、更に敷地を広げることは考えていません。（佐久市型論点整理手法 No. 117 のとおりです。）</p>
その他		
20	<p>児童館を造ってほしい。徒歩で通学する児童の為には、学校横に児童館が有るのが良い。造れないとしたら徒歩で通学する子どもが学校内で放課後過ごす場所が必ず必要である。そうしたことが書かれていない。</p>	<p>新小学校建設に伴う新たな児童館整備につきましては、現在のところ予定していません。臼田地区においては、既存5児童館（臼田、青沼、田口、下越、切原）を存続し現在と同様の運営をしていきます。</p> <p>徒歩通学の児童のうち、新小学校近隣の児童が放課後過ごす場所につきましては、児童館所管課とともに、総合的に検討します。</p>
21	<p>新小学校配置案にある正門前の道路は、佐久臼田ICへのアクセス道路が開通する以前は佳里保育園への送り迎えの車が多く利用し、道幅も狭く、お互いに譲り合っていた。特に西側県道とのT字交差点は見通しも悪く、出会い頭でぶつからないように非常に気を使う必要があった。地元説明会では、この道路に歩道は設置するが、道幅は現状のままだという。新小学校が開校すれば、送り迎えの車が殺到し、さらに危ない状況になると予想される。近隣住民にとっても、送り迎えの方にとっても、不便で危ないことは間違いない。この正門前の道路の拡幅をお願いしたい。</p>	<p>小学校敷地の北側道路については、車道幅5.0m、学校側に歩道幅2.0mの全幅7.0mに拡幅する計画ですので、生活道路として普通車が十分すれ違いできる車道幅員で整備します。近隣の皆様にご迷惑をおかけしないよう、保護者の送迎は、グラウンド北側駐車場で行う等、学校運営の中で配慮していきます。</p>

No.	意見・要望等要旨	市および市教育委員会の考え方
22	<p>校舎建築のハード面だけが問題とされているが、新しい学校の教育理念に基づいた日々の授業のありかたを4校で共有し合い、実践を交流、深めるソフト面の構築が不可欠（すでに実践してるのかもしれないが）。4校の児童が無駄な戸惑いなく、授業や教育活動にすぐに取り組めるために（新小学校になったら学力も体力も向上し、不登校も、問題行動も減少したと誇れるように）。</p>	<p>田口、青沼、切原、臼田の各小学校におきまして、4校合同の演奏会やレクリエーション等の実施により交流を深めていますが、いただいたご意見は、臼田地区新小学校の開校を見据えるなか大切なことですので、今後の取組みを進める際の参考にさせていただきます。</p>